

## 進路指導室から 第309号

### はじめに

今年も残すところわずかになりました。新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年でした。3月には学校が臨時休業となり、4月に再開となりましたが再び臨時休業と、やっと生徒たちが継続的に登校できるようになったのは6月に入ってからでした。この間、授業の遅れ、学校行事の中止・縮小など教育活動が著しく制約されてきました。

さて、毎日新聞朝刊に諏訪中央病院名誉院長の鎌田 實さんのコラム「さあこれからだ」が掲載されています。鎌田さんは「地域包括ケア」を全国に先駆けて導入し、長野県の高齢者医療に大きく貢献されてきたことが知られています。12月13日（日）のコラムのタイトルは「逆境や困難をプラスに」でした。鎌田さんがこれまでの人生の中で、「にもかかわらず」の言葉を大事にされてきたことが綴られていました。

僕の中には今まで歩んできた人生で見つけた一つの答えがある。「にもかかわらず」という生き方である。逆境や困難をプラスに転換する「にもかかわらず」という言葉が今の時代にぴったり合っていると思う。

「にもかかわらず」という言葉をずっと大事にしてきたのは、父からの影響だ。僕を産んでくれた父と母は僕を育てられなくなった。行き場のない僕の新しい父親になってくれたのは、岩次郎さん。この人は小学校しか出ていなかった。結婚した相手が重い心臓病だった。彼は貧乏と家族の重い病気という二つの困難を抱えていた。にもかかわらず、行き場のない僕を拾って育ててくれた。「余裕があるから」ではないことがすごい。父のこの「にもかかわらず」の精神を僕はもらった。

（中略）

僕が地方で作上げた医療スタイルも「にもかかわらず」によってできあがったように思う。

アルコール依存症の患者さんにも関わった。何度も人を裏切り、身上をつぶし、暴力を振るって家族に逃げられた。にもかかわらず、僕は彼らを信じた。

Aさんはアルコールをやめて、塾の先生をしながら、たくさんの落ちこぼれの若者たちの面倒を見た。新しい家族もできた。断酒は20年近く続いた。今年、彼は肺がんで亡くなった。彼の手を握りながら、耳元で話した。「よく頑張ったね、尊敬しているよ」

彼は目を開け、ニコッとした。聞こえたと思う。どんな状況になっても、人間は逆転ができる。そう教えられた。

（中略）

その現場で久しぶりに会ったのはスミロック。DJである。かつて僕はおむつのテレビコマーシャルに出演したことがある。その時、大型オートバイに乗っている人やサックス奏者など、元気な高齢者が集まり、ダンスを踊った。その時、スミロックに会ったのだ。彼女は77歳でDJの学校に行き、ターンテーブルの前に立つようになった。今も昼間は自分の家の中華屋さんをやって、夜になると東京・新宿の歌舞伎町のクラブへ行ってDJをしている。85歳でDJなんて、かっこいい。最高齢のDJとしてギネスにも認定された。高齢になってもやりたいことをやっている人は「にもかかわらず」の精神を持っている。

新型コロナウイルス感染症が拡大しており、先行きが不透明な状況です。しかし、「にもかかわらず」自らを大事にする、「にもかかわらず」他者を尊重する、そして、「にもかかわらず」前に進んでいきたいものです。

### 「大学入学者選抜に係る感染症対策」について

12月11日（金）に、文部科学省高等教育局長から各地方自治体の教育長等、全国高等学校PTA連合会長、全国学習塾協会、各都道府県知事に対して、「大学入学者選抜に係る感染症対策」が示されました。以下は、その中で受験生をもつ保護者の皆様方に留意していただきたいことです。

〔大学入学者選抜に臨む受験生の健康管理及び感染症対策について（各地方自治体の教育長等宛て文書：抜粋）〕

このことについて、大学入学共通テストや各大学の入学者選抜の試験期日に、受験生が万全の状態で受験できるように「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～（2020.12.3 Ver.5）」を踏まえ、改めて感染症対策を徹底していただくとともに、受験のために宿泊を要する場合等においても、移動中及び宿泊先までの感染症対策や、宿泊先での不要な外出を控えることなどについて、御指導をよろしく願います。

また、別添1から3のとおり、大学入学共通テストや各大学の入学者選抜の試験期日に、受験生の保護者や塾・予備校関係者が試験会場やその周辺に参集することによって、密集状態が生じることがないように、そうした行為の自粛を要請していますので、高等学校等の教職員においても止むを得ない場合を除き同様の対応を取るよう、御指導をよろしく願います。保護者におかれましても、受験生への止むを得ない付き添いや送迎を除いては、同様に御対応くださるよう、周知をお願いします。

合わせて、受験生の保護者に対しても、別添（全国高等学校PTA連合会長宛て文書）のとおり、家庭内の感染症対策等についてお願いしていますので御承知おきください。

〔大学入学者選抜に臨む受験生の健康管理及び感染症対策について（全国高等学校PTA連合会長宛て文書：抜粋）〕

（前略）

このことについて、受験生のいる家庭内においても保護者や親族を含め、改めて手洗い・マスクの着用、換気の徹底等の基本的な感染予防の実施や不要不急の外出の自粛、「3つの密」（換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、近距離での会話や発話が生じる密接場面）を避けるなどの対策を徹底くださるよう、貴協会の会員に十分な周知をお願いします。

また、別添1から3のとおり、大学入学共通テストや各大学の入学者選抜の試験期日に、高等学校等の教職員や塾・予備校関係者が試験会場やその周辺に参集することによって、密集状態が生じることがないよう、そうした行為の自粛を要請していますので、保護者におかれましても、受験生への止むを得ない付き添いや送迎を除いては、同様に御対応くださるよう、周知をお願いします。

大学等への通知内容については、以下に記載されているURLから御確認いただけますので御参照ください。

○ 令和3年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドライン

[https://www.mext.go.jp/content/20201030-mxt\\_daigakuc02-000005144.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20201030-mxt_daigakuc02-000005144.pdf)

なお、本校においては、例年、試験会場付近で本校受験生に対する激励を行ってききましたが、今年度の大学入学共通テストについては、上記の文書の趣旨を鑑み、「参集」しての激励は控えさせていただきます。ただし、試験当日、本校受験生が安心して受験できるような方策を検討し、対応していきたいと考えています。よろしくご理解のほど、お願いいたします。

## 「総合学力テスト・1月（ベネッセ）」について（1・2年生）

1年生及び2年生において以下の日程で、「総合学力テスト・1月」を行います。特に2年生については、今回の模擬試験から「地歴・公民」、「理科」を加えた5教科型へ移行します。

〔1年生〕

<1月23日（土）>

健康観察	8：30	～	8：40
英語	8：40	～	10：00（80分）（リスニングテストを含む）
数学	10：10	～	11：50（100分）
国語	12：10	～	13：30（80分）
小論文模試	13：40	～	14：40（60分）
自己採点	14：40	～	

〔2年生〕

<1月23日（土）>

健康観察	8：30	～	8：40
国語	8：40	～	10：10（90分）
英語	10：20	～	11：50（90分）（リスニングテストを含む）
地歴公民①	12：10	～	13：10（60分）
地歴公民②	13：20	～	14：20（60分）

<1月24日（日）>

健康観察	8：30	～	8：40
数学	8：40	～	10：40（120分）
理科①	10：50	～	11：50（60分）
理科②	12：00	～	13：00（60分）
自己採点	13：00	～	（文系：11：50～）

## 終わりに

先日、裁判所に入所し、書記官をめざしている66回生の卒業生から次のようなメールが届きました。「今年度から共通テストが始まるのでしたね。もう6年ほど前になりますが、受験期のことは今でもよく覚えています。先生には本当に大変お世話になり、感謝の気持ちはこれからも忘れることはありません。研修が終わって無事に書記官になることができたら報告に伺おうと思っていたので、その時までにはコロナが収まってくれたらいいなと思います」。目標に向かって頑張っている若い人たちはいいものです。

今年の「進路指導室から」はこれで終了です。皆さま、良いお年を。 （文責：進路指導部 池本邦彦）